

2月16日 甲虫などの翅を開いた標本教室報告

2月16日(日)、久しぶりに「甲虫などの翅を開いた標本教室」を開催しました。今回は、いつもの標本教室から一歩進めた、翅を開いた標本を作成することで、初級標本教室参加経験以上の経験ある小学生以上の方を対象に実施しました。

12名の小学生が参加して、まずはタイワンタガメを題材に標本作成にチャレンジします。最初に、前翅の隙間に親指を入れて、翅を開きます。ある程度、力を入れて指を入れて行くと、パキッと音がして開くのですが、力の入れ方がよく分からないため、皆さん恐る恐る行っていました。前翅が開いたら、後翅を前翅に引っ掛けて開きます。これはセミの標本作成と同じです。これもビミョーな感覚が必要で、また一苦労。ここまでできたら、針を指して足の形を整えて、翅をスチレンボードに展翅テープで止めて完成です。



ここで、一旦休憩した後、自分で選んだ、クワガタ、カブト、カミキリムシの甲虫に挑戦です。ここでも、それぞれ翅を開くのに、皆さん苦戦しつつ進めていきます。後翅は甲虫の場合、折り畳まれているので、これを開くのがまた大変！開いた後翅はそれぞれの大きさに合った、スチレンボードを用意して展翅テープで止めて整形していきます。虫によって違うため、スタッフも大忙しです。

大きなカミキリを選んだ方は、長い触覚をどう整えるか、思索しながら奮闘していました。



皆さん、初めての経験で戸惑うところもあったようですか、なんとか終了！このまま1月以上、乾燥させた後、標本完成となります。どんな標本になるかな？とっても楽しみです。